

討論会でボードを掲げ意見交換する参加者(左から2人目はYMパワーの萩原さん) = 11月21日、名鉄トヨタホテルで



電力転売益で地域サービス 脱炭素の悩み、本気を共有



地域課題解決について話し合う戸田さん(右)、成本さん(右から2人目)ら = 11月22日、旭・つくラッセルで

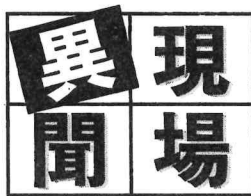
全国の新電力は仕入れ価格の高騰で売れば売れば赤字体質になる悪循環に陥り、21年度だけで35社が電力小売りから撤退した。東京電力など大手5社は年内にも政府に値上げ申請を固めている。

YMパワーは3年前、豊田市と中部電力が参加する全国初の枠組みで、中山間地の学校や支所、浄・配水場などの公共施設約700カ所のほか一般家庭の電力契約を中電からMYパワーに切り替え、その売電手数料で病院への送迎や配食などの地域サービスを始めている。

自前の再エネ確保で一致

エネルギーの地産地消を目指す全国各地の地域新電力会社が11月21日から2日間、豊田市内に集まり、エネルギー価格高騰の悩みを共有しながら脱炭素社会を本気で加速させようという大会が名鉄トヨタホテルと旭地区のつくラッセルを主会場に開かれた。「新電力」は2016年の電力自由化後、大手電力会社より安い価格を武器に約700社誕生したが、このうちの約70社は地域新電力として地域外に流出する電気料金を域内で循環させ、地域サービスや新たな雇用を生み出している。大会には地域新電力23社と関連会社など計64社から約100人が参加。高い志がありながらエネルギー高騰で経営基盤が揺らぐなか、生き残りを賭けた率直な情報交換や意見交換が行われた。

【柴田永治】



豊田に全国の新電力100人結集

大会は地域新電力の中間支援団体・ローカルグッド創成支援機構(東京)主催で、東日本大震災で被災した宮城県東松島市で開催された19年以來3年ぶり2回目。同団体は新電力24社と自治体や企業、大学など計58社が参加する国内最大の地域電力のプラットフォーム。

豊田市の開催は全国的にも先進的な取り組みで注目されている株式会社三河の山里コミュニティパワー(略称・MYパワー)社長、早川富博(70)は「中電さんも市場改善の見通しが立たず厳しい。MYパワーとしても全国の再生可能エネルギーと提携する横浜市のeサイクルから電力供給を受けるなど仕入れ先を増やして万全の体制で臨みたい」と説明した。

だが全国の新電力の多くと同様、MYパワーは自前の発電施設を持たず、20年暮れのLNG調達不足による需給ひっ迫に端を発した仕入れ価格高騰や、ロシアのウクライナ侵攻による世界のエネルギー事情の激変で苦しい経営を強いられている。

初日の全体会議でMYパワー専務の萩原善之(70)は「中電さんも市場改善の見通しが立たず厳しい。MYパワーとしても全国の再生可能エネルギーと提携する横浜市のeサイクルから電力供給を受けるなど仕入れ先を増やして万全の体制で臨みたい」と説明した。

基調講演では日経エネルギーNextの山根小雪編集長が「苦しい時こそ顧客との関係を強めるチャンス。これからは地域新電力を全力で応援したい」と激励。環境省地域循環共生圏推進室の佐々木真二郎室長は「地域経済の全体像と域外からの資金の流入を『見える化』できる自動作成ツールを無料公開している」と利用を呼びかけた。

オンライン参加した在西村康太郎の西村健佑氏は、電気・ガス・水道・交通サービスなどを提供する自治体出資のシタットベルケ(地域事業者)について「1千社以上あるが倒産は10社を超えていない。社員は地元を愛するコディネーターとして実情やインフラをよく把握している」と最新事情を解説。ドイツ政府の再エネ導入目標についても25年以降、太陽光と陸上風力で21年実績の5倍の目標を掲げていると説明した。

意見交換会では「3.11の全村避難を経てスタートしたが、被災地故の停電が増えた(福島・葛尾村)」「大手新電力が撤退した後、事業者から契約申し出があるが泣く泣く断っている(山形市)」「地域課題解決で恩返ししたいのに、燃料高騰で値上げせざるを得ず、何のためにやっているのか(石川・加賀市)」「(山形市)などの意見も。改めて独自の電源開発や事業多角化の必要性が浮き彫りになった。

2日目はI・Uターンなど多様な他者が集まり「支え合い」のさまざまな実践が行われている旭・つくラッセルで、2年間助成を受けたトヨタ財団の成果報告会も兼ねてパネル討論会が開かれた。つくラッセルの戸田友介代表は「中に入って顔なじみになり、グチャグチャやっているうちに新しい何か動き出す」と、ししまの家世話人の成本由紀子さんは「支え合い活動でよく『俺らは儲かるのか』と聞かれるが、子どもたちが育つのが先

が見えた。討論では「次の一歩を見つこう」と意見も出た。何より「助け合いの下手」に留まっていることから抜け出し、地元としっかりつながる地域新電力の立ち位置が見えた」と2日間の意義を語っていた。

「支え合い」旭地区を視察

「支え合い」旭地区を視察